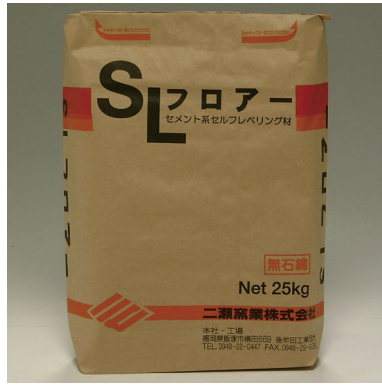




UNION
SL
FLOOR

セメント系セルフレベリング材

SLフロー



荷姿:25kg紙袋

セメント系セルフレベルング材 SLフロアー

特長

- ・流動性の良い材料ですので、コテやトンボで軽く均すだけの簡単な作業で高い水平精度が得られます。
- ・高速ミキサーや圧送ポンプを用いることで広い範囲を短時間で施工でき、工期短縮や省力化が図れます。

【用途】

- ・長尺シート、Pタイル、木質系床材などの貼り物床下地
- ・カーペット、じゅうたん等の敷き物床下地

【施工方法】 ※施工について詳しくは施工要領書をご請求下さい。

(1) コンクリート打設時の下地処理

- ・下地の脆弱部分、レイトンス、油脂、汚れ等はサンダー掛けで除去して下さい。
- ・屑、粉塵は掃除機で十分に清掃して下さい。
- ・凸部は研り取り、凹部はあらかじめモルタルでつけ送りして下さい。

(2) 漏出防止措置

- ・僅かな隙間でも漏出するおそれがありますので、十分にチェックして隙間のある箇所はバックアップ材やモルタルでせき止めて下さい。

(3) 墨出し

- ・壁際に墨出しを行ない仕上がり位置を表示して下さい。
- ・床面に1~2m間隔でアタリを設置して下さい。
- ・面積が広い場合は、1~2m間隔でセキを設けて下さい。

(4) プライマー塗り

- ・下地が乾燥している状態で、SL専用プライマーを水道水で4倍に希釈したものを2回塗りして下さい。
- ・プライマーはハケやブラシを用いてコスリ付けるように塗布して下さい。
- ・1回目透明に乾燥してから2回目を塗りつけて下さい。※塗布間隔の目安：夏期1~2時間、冬期3~4時間程度
- ・乾燥の目安時間を過ぎても低い部分に溜まってなかなか乾燥しないプライマーは、ハケでのぼして乾燥させて下さい。
- ・プライマー塗布後は粉塵等が付着しやすくなりますので、できるだけ早くSLフロアーの施工を行なって下さい。

(5) 施工箇所の保護養生

- ・SLフロアーの流し込みに入る前に、風、雨を避けるためドアや窓は全て閉じ、開口部はシート等で通風を防いで下さい。また、強い日差しを受ける箇所はシート等で保護し、急激な乾燥を避けて下さい。施工後24時間以上は閉鎖したままにして下さい。

(6) SLフロアーの練り混ぜ

- ・練り混ぜ器具は高速ミキサー(グラウトミキサー)もしくはハンドミキサー(800min⁻¹以上の高速型)を用いて下さい。
- ・水道水6.3ℓを容器に入れ、SLフロアー1袋(25kg)を徐々に投入しながら練り混ぜ、全量投入完了から3分間練り混ぜて下さい。
- ※フロー値を測定し、220mm±10mm間に調整して下さい。
- ・水量調整は6.0ℓ~6.5ℓ間として下さい。
- ・レイトンスや強度不足の原因になりますので水量は指定範囲内として下さい。
- ・材料を練混ぜたら、10分以内に流し込んで下さい。
- ・水を加えての練り返しや練足しは行なわないで下さい。

(7) 流し込み

- ・練混ぜた材料は10分以内に流し込んで下さい。
- ・端部より流し込み、仕上がり墨に合わせながら土間ゴテで均して下さい。設けたセキは両側の流し込み厚が一致したら取り外して下さい。
- ・打ち継ぎ部などの均し作業は、流し込み後15分以内に完了させて下さい。

(8) 養生

- ・施工終了より24時間以上は閉鎖したままにして、風や雨・直射日光を防いで下さい。また、振動・衝撃を受けないように注意して下さい。
- ・軽歩行は、夏期24時間以上、冬期2~3日以上で可能ですが、表面はキズつきやすいためダンボールや養生シートを敷くなど保護して下さい。また、建築資材等の直置きも避けて下さい。
- ・仕上げ材の施工までは夏期7日以上、冬期14日以上養生して下さい。
- ・SLフロアー硬化後、表面にレイトンスが出た場合や気泡が発生し表面に凸部ができた場合には、ポリッシャーなどで表面を研磨し、凹部の大きな場合はポリマーセメントモルタルで埋め平滑に仕上げして下さい。

【製品プロフィール】

荷姿	適用下地	標準練水量	練上がり量	標準塗厚	標準施工面積		
					10mm厚	15mm厚	20mm厚
25kg 紙袋入り	コンクリート PC板	6.3ℓ (調整幅6.0~6.5ℓ)	約15ℓ	7~20mm	約1.5㎡	約1.0㎡	約0.75㎡

【試験成績表】 <ご注意> 下記の試験結果は、試験方法によって定められた条件によって得られたデータであり、実際の現場での性能を保證しているものではありません。 二瀬窯業(株) 試験室

項目	単位	試験結果	品質基準
フロー値	cm	22.5	19以上
凝結時間	始発	7-23	0-45以上
	終結	10-05	20-00以内
圧縮強度	N/㎡	24.1	20.0以上
下地接着強度	N/㎡	1.21	0.7以上
表面接着強度	N/㎡	0.91	0.5以上
長さ変化	%	0.06	0.12以下
衝撃	—	割れおよび剥がれなし	割れおよび剥がれの無いこと

※試験方法：JASS 15 M-103(セルフレベルング材の品質基準)

⚠【施工上の注意事項】 SLフロアーは安全に正しくお使い下さい。

- ・SLフロアーの最適な施工厚さは7~20mmです。7mm未満ではセルフレベルングできない恐れがありますのでご注意ください。また、20mmを超えると不具合を招く恐れがありますのでご注意ください。
- ・気温が5℃以下になる場合は施工を避けて下さい。やむを得ず施工する場合は、仮設暖房などにより全面への均一な採暖養生を行なって下さい。室温を安定させるようにして、施工面へ直接暖気を当てることはひび割れの原因になるため行なわないで下さい。
- ・勾配を必要とする場所への施工は出来ません。
- ・気温5℃以下及び5℃以下になると予想される場合は、原則として施工を行わないで下さい。
- ・製品には練水の他、弊社が特に指定するもの以外は混入しないで下さい。また、練混ぜに使用する水は水道水を使用して下さい。
- ・施工時に材料が飛散するおそれがありますので、保護が必要な部分は予めポリエチレンフィルムなどで養生を行なって下さい。
- ・軽歩行は、夏期24時間以上、冬期2~3日以上で可能ですが、表面はキズつきやすいためダンボールや養生シートを敷くなど保護して下さい。また、建築資材等の直置きも避けて下さい。
- ・固まったものの使用は避けて下さい。
- ・開封後の材料は、使い切って下さい。

日本建築仕上材工業会登録
登録番号 0408052
放散等級区分表示 F☆☆☆☆
問合せ先 http://www.nsk-web.org/
水濡れ厳禁 無石綿 業務用

施工要領・SDS等は別途ご請求下さい



ISO 14001取得企業

施工資材 SLフロアー施工に最適なプライマーです 気泡抑制効果が高く表面精度が向上します



荷姿:18kg缶

塗布型吸水調整材 SL専用プライマー

アクリル系ラテックス

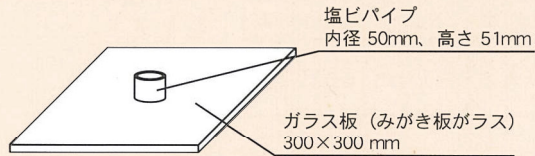
標準施工面積 200~250㎡/缶
(4倍希釈・2回塗り)

性状

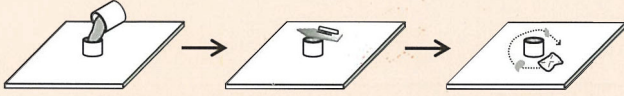
外観	主成分	濃度	比重	粘度 (mPa·s)	pH
乳白色液体	アクリル系	45%	1.02	100以下	8.5

日本建築仕上材工業会登録
登録番号 0406003
放散等級区分表示 F☆☆☆☆
問合せ先 http://www.nsk-web.org/

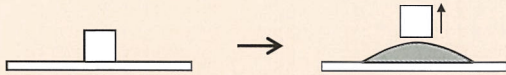
セルフレベルング材のフロー値の測定要領



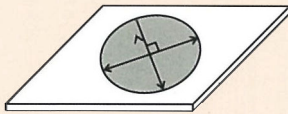
① ガラス板を水平に設置し、中心に塩ビパイプを置く。



② 練り混ぜた S L フロアーを容器等にとり、直ちに塩ビパイプに充填して表面をコテやヘラなどですり切る。ガラス板上にこぼれた材料はウエスで拭き取る。



③ 塩ビパイプを真上にゆっくりと取り去る。



④ 材料が静止するまで待ち、広がった最長方向とその直角方向の長さを測定し、その平均値を求めフロー値とする。

※注 意

ガラスが濡れている状態では正確なフロー値が得られませんので注意して下さい。
ガラス板は水平にして下さい。



二瀬窯業株式会社
<http://www.futaseyogyo.co.jp/>

本 社 ・ 工 場 福岡県飯塚市横田669
〒820-0044 tel(0948)22-0447 fax(0948)29-0289
関 東 工 場 千葉県木更津市新港15-8
〒292-0836 tel(0438)30-7372 fax(0438)30-7472
東 京 営 業 所 東京都港区芝2-27-8 マスマンビル 2F
〒105-0014 tel(03)6453-6685 fax(03)6453-6686
名 古 屋 営 業 所 愛知県清須市西枇杷島町弁天45 ヤマモビル 1F
〒452-0006 tel(052)509-2485 fax(052)509-2486
大 阪 営 業 所 大阪府大阪市港区市岡元町2-8-18 ワールドビル 2F
〒552-0002 tel(06)6583-3310 fax(06)6583-3325
福 岡 営 業 所 福岡県飯塚市横田669
〒820-0044 tel(0948)22-0447 fax(0948)29-0289